

いなみ町

議会だより

No.101
2024.4

令和6年 第1回定例会等

議案審議	P2～P3	一般質問(5名が登壇) ...	P4～P8
委員会報告	P9	団体紹介	P10

唐尾隧道(川又地区)

1月23日に臨時議会を開会し、議案2件を可決しました。
3月定例会は8日に開会し、議案27件をすべて可決、同意し19日に閉会しました。

印南町高校生・大学生等生活応援給付金

質疑 高校生に5万円、大学生等に10万円を給付することですが、想定している対象者は何名ですか。

答弁 総務課長

高校生は260名、大学生等は前回の実績で210名を想定しています。

質疑 前回の給付で大学生は自分で申請したが、高校生の場合は誰が申請するのですか。年齢制限はありますか。

答弁 総務課長

高校生の申請は保護者にしていたいただきます。
学校教育法に規定されている大学等に在学している学生であれば年齢は問いません。

印南町認定こども園物価高騰対策支援金

質疑 内容を説明して下さい。

答弁 教育課長

これまでどおりの質、栄養バランスと量を確保した給食を継続するために、いなみこども園に補助します。

副食費にかかる物価高騰の負担を軽減するため、令和5年4月から令和6年3月の間を支援の対象として、3歳児から5歳児の園児1人につき、1食あたり10円を支援します。

印南町住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金

質疑 対象となる世帯に、7万円を給付することですが、給付予定世帯数と給付日を説明して下さい。

答弁 住民福祉課長

250世帯を予定しています。給付日は3月上旬を予定しています。

印南町国民健康保険税条例の一部改正

質疑 税率見直しということですが、被保険者1人当たりいくらの値上げとなりますか。

答弁 税務課長

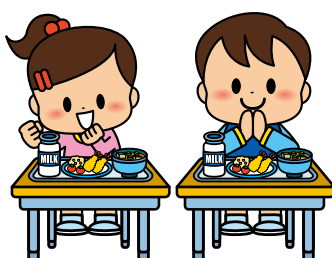
単純計算で平均値上げ額は1人当たり7,000円です。しかし、軽減世帯、例えば、年金生活の夫婦などでは、年間750円の値上げです。
資産割の率は引き下げてい

るので、資産割も加味すればもう少し金額は下がる場合もあります。

質疑 今後の国保会計の見通しは、どのようにお考えでしょうか。

答弁 税務課長

令和7年度以降も数千万円の不足が予想されます。
一般会計の繰り入れ等により急激な負担の緩和を目指します。



議案に対する各議員の賛否

○= 賛成 ×= 反対

種類	議案 番号	議案内容		黒 井	木 村	岡 本	谷	中 島	片 山	古 川	杉 谷	玉 置	榎 本	前 田	堀 口
条 例	1	印南町手数料徴収条例の一部改正について	上位法の施行に伴う一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	3	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	上位法の改正に伴う条ずれ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	4	印南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	上位法の改正に伴う一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	5	印南町ふるさと応援寄附金条例の一部改正について	国の制度との整合性を図る一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	6	印南町国民健康保険税条例の一部改正について	税率見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	7	印南町介護保険条例の一部改正について	現在の基準額より100円値下げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	8	印南町営住宅管理条例の一部改正について	上位法の改正に伴う文言整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	9	印南町漁港管理条例の一部改正について	上位法の法律題名変更にもと な文言整理等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	10	印南町水道事業給水条例の一部改正について	上位法施行による条例の整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	11	印南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	上位政令改正に伴う一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予 算	2	令和5年度印南町一般会計補正予算(第7号)について	物価高騰対策事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	16	令和5年度印南町一般会計補正予算(第8号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	17	令和5年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	18	令和5年度印南町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	19	令和5年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算(第2号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	20	令和5年度印南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	21	令和5年度印南町水道事業会計補正予算(第2号)について	決算見込みによる補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	22	令和6年度印南町一般会計予算について	統合中学校建設事業等	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	23	令和6年度印南町国民健康保険事業特別会計予算について	税率見直し等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	24	令和6年度印南町後期高齢者医療特別会計予算について	保険料率の改正等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	25	令和6年度印南町介護保険事業特別会計予算について	保険料の引き下げ等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	26	令和6年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計予算について	通常経費の計上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	27	令和6年度印南町同和对策新築家屋貸付金特別会計予算について	貸付金の返済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人 事	14	印南町副町長の選任について	脇谷 宗男(再任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	15	印南町農業委員会委員の任命について	任期満了に伴う13名の農業委員に対する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
他	12	印南町辺地総合整備計画の策定及び変更について	3辺地にかかる計画の策定及び変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	13	工事請負契約の変更について	工事の進捗を図るための契約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※議長は裁決に加わりません
議案1,2 臨時議会 その他 第1回定例会



ここが聞きたい!

木村 栄一 議員

町長4期目の抱負について

質問 選挙戦を通じ5つの希望あふれるまちづくりの推進を掲げておりました。そこで、改めて4期目にかける町長の抱負をお聞かせください。

答弁 町長 5つの希望あふれるまちづくりの中でも中学校統合事業については、令和10年4月開校を目指しています。

1期目より、住民目線に立った強靱で安全・安心のまちづくりは能登半島地震を教訓に今後もしっかり取り組んでいきます。職員共々行政と議会が一体となり、一步、二歩、その先を見据えた希望あふれるまちの実現に精一杯取り組んでまいります。

質問 住宅耐震化率について、和歌山県2018年度81%と、全国平均87%を下回っています。また、町では耐震改修補助制

度を実施していますが、実態はどのようなものですか。

答弁 総務課主幹 印南町の耐震化率は70.8%。住宅総戸数では、約2790戸に対し、耐震性を満たす住宅は約1974戸。耐震改修補助制度では、直近5年間で19件の利用です。

質問 耐震化率の低さは、印南町だけの問題ではなく全国の地方の共通課題と認識しますが、印南町としてこの耐震化率をどのようにお考えですか。

答弁 総務主幹 大都市に比べ、一戸建て住宅数が多く、高齢化とともに、経済的状況から耐震改修が難しいのではと考えています。

質問 備蓄食料について現在町では3日分の備蓄食料が準備されていますが、能登半島地震を

受けて見直しはお考えですか。

答弁 総務課長 3日間は住民、町、県の備蓄物資で対応することが基本ですが、印南町ではそれを単独で3日分全て備蓄するという体制を取っています。現在約6万2千食備蓄しています。

質問 災害時に、井戸の活用が重要視されていますが、町としてどのようにお考えですか。

答弁 総務課主幹 飲料水、生活用水を確保することが急務と考えますので、井戸の活用が大変有効です。現在、災害時生活用水協力井戸16件登録があります。令和6年度予算で、手押し式ポンプの設置補助を行います。

質問 令和6年度より、災害用協力井戸登録促進事業が始まりますが、目標数を設定されていますか。

答弁 総務課長 できれば数多く登録してほしい。掘り起こしをしっかりとやっていきたい。

質問 実態把握に努めていただきたいのと、新しく井戸を掘る場合にも補助を検討してもらいたいと思いますが。

答弁 総務課長 まずは実態把握に努め、その状況から一つの検討課題に入ると考えております。





前田 憲男 議員

防災について

質問 東北の大震災や能登半島の地震でも起きたように大災害時多くの地域で停電が発生しております。

ほとんどの場合90%近くは、一週間以内に復旧されておりますが、東北では、3か月、また能登半島でもいまだに停電が続いております。

3月11日の北陸電力の発表では、290戸が停電しているということでした。

以前の台風による停電でも町内のほとんどの地域が3から4日で復旧しましたが、川又地域の一部では、2週間の停電を余儀なくされました。

真妻地区では、ライフラインの中でも 水に関しては、各所に井戸や谷水があり 飲料水として適しているかどうかは、わかりませんがそのような水で生活をしていた時期もあり一気に体調を壊すということも考えにくいと思われます。

ただ、今の生活は、電気に頼

り切っているところもあります。

真妻地区には、大型の発電機を設置した避難所がありません。

自主防災会が所有している発電機も小型のものが多く、炊飯器や電気ポット、乾燥を併用しているような洗濯機は、稼働させることができません。

南海トラフの地震で想定される停電はどの程度の規模を予想されていますか。

答弁 総務課主幹

和歌山県の地震被害想定調査では、発生直後、町内100パーセントが停電します。一週間後でも64パーセントの停電が続くと予想されています。1週間以降は、関西電力でも予想はできないということでありま

質問

当町からも職員が能登のほうに派遣されていますが教訓

として持ち帰ったようなことはありませんか。

答弁 総務課主幹

膨大な数の物資支援や人的支援が集まってきておりそれをどのようににさばくかが、問題であります。受け入れ体制の計画訓練が必要と考えます。

質問

旧まづま保育園は、備蓄食料の保管場所となっていて、大災害時 消防団の集合場所ともなっているが、ここを一時避難の場所とすることはできないのでしょうか。

答弁 総務課長

一時避難場所としては、可能かというふうにも思いますが、

大雨での避難となった場合、地滑りの警戒区域ともなっております。

避難場所としては、気象条件に応じた内容でとらえていただきたいと思います。





ここが聞きたい!

岡本 庄三 議員

農業振興地域整備計画の 全部見直しについて

質問

前回改定は平成10年度で既に26年が経過、その間、耕作放棄地の増加や就農人口、後継者の減少等、町内における農業を取り巻く環境が大きく変わっていると思います。

そこで、現在取り組んでいる農業振興地域整備計画の全部見直しについてお聞きします。

町が推進している公共施設の高台移転計画との整合性というのは、どのように図られているのかと。

また、特に印南地区においては津波を想定した場合、高台の農地の土地需要への対応が非常に重要な問題だと思います。今回の全部見直しについては、防災上非常に重要なポイントであると思います。農業振興地域の整備に関する法律に基づく、農地の保全と相反することになると思いますが、やはり住民の命を最優先すべきであると思います。今後、安全・安心のまちづくりを進める上で、将来に禍根を残さない判断が必要ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

答弁

企画産業課長

上野山地区はもう既に関係各課と連携しながら、将来の土地利用についても確認をしつつ、将来的に農業を継続していくというような意見はあまりいただいていませんので、そういう思いを持って高台での未来投資事業については推し進めてまいりたい。

しかしながら、農業振興を行う畑地総合整備事業で行ったエリア等々については、様々な法律についても捉えはしていますけれども、なかなか許可が下りない現状ですから、防災上、農業振興の施策、こういったことを2つ同時に検討しながら今後の振興計画に反映できたらと考えています。

小中学校の給食費 無償化について

質問

和歌山県は、子育て世帯の経済的負担を軽減する目的で、令和6年10月から給食費の無償化を実施する市町村に対し費用の一部を補助し、県内の小・中学校の給食費の無償化に取り組む方針を発表しました。

印南町ではこのことを受けてどのような対応を図りますか、給食費無償化に対する印南町の考えをお聞きます。

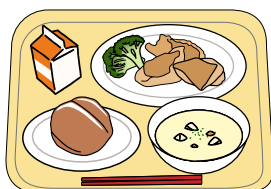
答弁

教育課長

物価高騰が続く中、特にその影響を受けやすい子育て世帯への新たな経済的支援事業として、県の補助を待たず4月から実施し、子育て世帯への経済的負担の軽減と児童・生徒の健全な育成を支援いたします。

質問

昨年6月議会で、学校給食費無償化について一般質問をさせていただきましたが、当初の予算にいち早く対応していただいておりますこと、御礼を申し上げます。





榎本 一平 議員

能登半島地震から 町の防災対策を問う

質問 能登半島地震で多数の方が圧死で死亡されました。

当町の住宅の耐震診断と耐震工事の現状はどうなっていますか。

答弁 総務課主幹

耐震診断はここ5年間で合計で41件、過去10年間では63件です。

耐震補強工事は5年間の平均で年に4件の実績です。

質問 県の耐震化は令和2年度

で83%で令和7年度におおむね解消したい、との目標です。町の目標はどうなっていますか。

答弁 総務課長

町としても同様の目標としています。

質問 耐震補強工事の推進は費

用面や住民の高齢化などの課題があります。

提案があります。現在の耐震

補強工事への補助金制度とあわせ、壁の補強を条件に「住宅リフォーム助成制度」をつくり耐震改修工事を推進してはどうですか。

答弁 総務課長

一度研究させてもらいます。

質問 過去の大災害では避難所

において女性性が被害、トラブルなどに遭うケースが発生しています。

ジェンダー視点と災害対策支援の立場が重要になってきています。印南町でも大災害が発生し長引く避難所生活が続く中で相談体制や要望を聞く事などが重要です。

ジェンダー視点と災害問題について議論はされていますか。

答弁 住民福祉課長

性別、年齢、障害の有無など社会的状況で影響は異なります。

町では防災危機管理対策委員会に女性職員も参加し意見を出し合っています。

母子保健の分野では妊娠届出時や赤ちゃん訪問時に母親に防災チラシを渡し防災意識の向上にも努めています。

質問 行政などの意思決定をする部署に女性の配置が必要ではありませんか。

答弁 総務課長

女性の視点は大切です。徐々

にそのような議論もしていきま

障害者福祉を問う

質問 地域の住民の方から、親

が都合で障害を持つっている子供をみれない時に町内で対応してもらえる環境が欲しい、とのご意見をいただきました。

現在、町内での対応としてどのような方法がありますか。

答弁 住民福祉課長

印南町では西ノ地の和歌山県福祉事業団「第2陽だまりホーム」に、緊急時に受け入れのための1室があります。

事前登録は不要ですが役場で支給決定が必要ですので住民福祉課に相談していただきたい。





ここが聞きたい!

中島 洋 議員

災害時に備えて統合中学校の施設の重要性について

質問 能登半島地震を目の当たりにし、明日は我が身であると恐怖を感じました。

そして、被災者の方々が避難する場所の多くは学校の体育館や教室であり、命を守る大切な施設であります。

しかし、印南地区には高台に学校や体育館はありませんが、4年後に統合中学校が開校されます。

施設の概要は教育委員会の説明を受けていますが、能登半島地震の大災害を見ますと、更なる防災対策が必要であると思いますがいかがですか。

答弁 教育課長

統合中学校は立地条件からも印南地区の避難場所となるよう、防災機能を備えた整備計画を進めています。

また、様々な活用場面を想定し、可能な範囲で最大限の防災機能を検討しています。

質問 教育委員会の施設説明では、小学校の統合時にはプールも計画されていました。

過去の災害や能登半島地震を見ても、飲料水は十分確保出来ませんが、トイレや衛生管理に使う生活用水が確保出来ず、大変困られていました。

今回の建設予定ではありませんし、予定されている予算も膨らんでいきますが、プールは生活用水を確保する大変重要な施設になると考えられますので、同時に進めてはいかがですか。

答弁 教育課長

プールについては将来、小学校統合の可能性を踏まえて、示しました。現時点では具体的なものではなく、今後検討されると思われます。

プールを先行して建設するには、様々な議論の余地が必要です。

質問 プールの設置は予定にも無かった事もありますし、もちろん予算も膨らんでいきます。様々な議論が必要であることは理解します。

しかし、人の命はお金に換えられません。2023年12月31日までは今までの対策方法で良かったかもしれませんが、2024年1月1日の災害を見ますと、もう一度見直す必要があると考えます。

この施設はただの学校施設ではありません。印南地区の皆様命を守る非常に大切な施設になります。

予定されている予算よりも膨らむかもしれませんが、その分は町長をはじめ職員の皆様と様々な方法を考えて、有利な財

源を確保していただいて、取り組んでいただきたい。

答弁 教育課長

現時点では総事業費60億円を一つのラインと設定しています。

有利な財源を徹底的に追求し努力して、防災対策を検討していきたいです。

その上で、更なる防災対策、これに必要な予算が新たに必要となった場合は、財政当局とも改めて協議し、検討していきたいです。



合同委員会活動報告

総務産建常任委員会報告

◎木村 栄一 岡本 庄三
◎谷 章資 玉置 克彦

片山 智文
堀口 晴生

◎委員長
◎副委員長

総務産建常任委員会では、閉会中の継続調査として「防災について」を調査するために、建設課長及び職員を招き、砂防事業や小規模土砂災害対策事業等についての説明を受けました。その後現地を視察しました。

【日時】

令和6年2月27日（火）

【視察場所】

芝中谷川砂防事業現場
（印南原地内）
畑峰峠谷川砂防堰堤現場
（櫻川地内）

砂防事業は、都道府県知事が施行する事業で、1件あたり1億円以上の事業費で土砂災害危険箇所の公表をしており、土砂災害警戒区域に指定されていることが採択要件である。



現在、印南町内で整備された砂防施設は、25箇所あり、河床の洗掘を防ぐ床固工や溪流の土石流を防ぐ砂防堰堤がある。床固工が17箇所、砂防堰堤が8箇所整備されている。

現在、町内で実施中である砂防事業は視察現場を含め9箇所あり、全て砂防堰堤の整備である。また、この他5箇所の溪流について要望しているところである。

行政としては、今後も、地域からの防災面での要望や意見を聞きながら、「一人の犠牲者も出さない」取組を進める決意である。

文教厚生常任委員会報告

◎中島 洋 黒井 美晴
◎古川 眞 榎本 一平

杉谷 孝祥
前田 憲男

◎委員長
◎副委員長

文教厚生常任委員会では、閉会中の継続調査として「国民健康保険事業の現状について」を調査するために、住民福祉課長と職員及び税務課長を招き、国保事業の現状等についての説明を受けました。

【日時】

令和6年2月19日（月）

質問

コロナ5類引き下げ以後、患者の医療費負担は国負担から自己負担になるが、国保の医療費増額も影響していくのではないのですか。

回答

給付費の増額も予想されます。

質問

国保税について来年度も十分な税額確保が難しく、増税に踏み切らなくては国保運営が困難であるとのことですが、増税した場合1人当たりの負担額はいくらあがりますか。

回答

単純計算ですが、1人当たり約7,000円です。

質問

国保制度は国の責任において運営してほしい。特に全国知事会も提唱しているように1兆円の支援があれば運営できるとの試算もあることから町も声を上げてほしい。

回答

町長の考えもあるので、協議しながら進めていきたい。

いなはら友遊



結成の経緯

稲原地区を何とか活性化したいと思う仲間が集まって2021年6月頃から意見交換が始まり、地域の住民が集まる活動拠点が欲しい、みんなで集まっていきたい、みんながやがやできないかと2022年1月26日（水）稲原防災センターに稲原の住民35名が集まり『わいわい稲原まちづくりプロジェクト』を実施、その母体である『いなはら友遊』を結成しました。

活動内容

1年かけて稲原防災センター南側の古民家（旧鍛先邸 鍛先氏が建物を無償で提供、改装資金の一部を寄付してくれた）をみんなでリフォーム、同時に休耕田

4か所を借り受け耕作の準備作業をしてきました。

2023年1月23日（月）建物のリフォームが完成。県庁、役場、地域住民40名で『いなはら友遊』お披露目会を実施しました。

その後これまで『いなはら友遊』は月々土曜の午後1時～4時の当番体制の実施、メンバーの懇親会、春のお雛祭りやミニ四駆大会、秋のバザー、お月見探検隊、クリスマスのサンタクロース訪問等のイベント実施、無償で借りた畑での野菜の栽培・収穫イベントを実施して稲原活性化の活動をしてきました。

一言

稲原地区の皆さんが少しでも楽しく交流できて、過ごしやすい地域になってほしいと願っているところです。皆さんのご協力でできた『いなはら友遊』。今後共の皆様のご参加、ご協力をお待ちしております。ご興味のある方は左記までご連絡下さい。

代表者 坂井 誠治

TEL 090-1590-4668



掲載団体募集のお知らせ

裏表紙で紹介する町内の団体を募集しています。掲載を希望する団体は議会広報特別委員会までご連絡をお願いします。

議会広報特別委員会

■ 委員長 前田 憲男 ■ 副委員長 片山 智文
■ 委員 黒井 美晴 / 谷 章資 / 中島 洋 / 古川 眞